

受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

平成17年度 国務大臣・内閣府 特命担当大臣・ 経済財政政策担当 大臣賞受賞	受賞者名 社団法人 札幌消費者協会 （現：公益社団法人 札幌消費者協会）
	所在地 北海道札幌市
<p>1. 活動継続 あり</p> <p>当協会の理念の一つである「限りある資源を大切に」し、環境にできるだけ負荷をかけない循環型社会を形成するために、関連機関・団体と連携しながら、イベントに出展したり研修・講座等を開催し、子供から大人までを対象に啓発・教育活動を行っている。</p> <p>イベントや講座では、消費者が商品を購入するときには、「環境を考慮すること」、「廃棄ごみをできるだけ減らし、出てきたごみは資源化に向けてしっかり分別すること」等と呼びかけている。</p>	
<p>2. 活動の広がり あり</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 17 年にスタートした事業者・行政と協働した「ごみ減量実践活動ネットワーク」（札幌スリムネット）の啓発活動として、町内会等様々な団体への派遣講座を実施しているが、近年、対象が小・中学校、児童会館へと広がっている。 毎年、札幌市主催の環境広場、環境科学展や 3R 北海道大会への参加、また地下歩行空間や大型店舗での一般市民向けイベントへも積極的に参加している（平成 28 年度の講座参加者は 680 名、各イベントでのブース来場者は約 800 名） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>ごみの分別体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>段ボールのリサイクル工作</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>環境すごろくを使った講座</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年度より、「限りある資源を大切に」する活動を食品ロス削減への取り組みに広げ、行政や他団体と連携し「生ごみの組成調査」、「食品ロス講座」、「食品ロス削減普及啓発イベント」等を実施してきた。平成 28 年度は行政・業界・生産者それぞれの立場における食品ロス削減への取り組みについて連続講座を実施し、消費者との意見交換会も行った。 	
<p>3. 活動の進化 あり</p> <p>3R を誰もがわかりやすく理解し実践できるように作製した「環境かるた」「ごみの分別ゲーム」「買い物ゲーム」に加え、平成 28 年度には新たに「環境すごろく」「人間すごろく」を作製した。参加者が楽しく遊びながら学ぶことができ好評を得ている。大学のデザイン学部の学生と一緒に作製した「環境かるた」は中版大判のタイプがあり、体育館や屋外でも遊べるよう工夫している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>環境かるた</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>人間すごろく(3×4 m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>環境すごろく (テーブルサイズ)</p> </div> </div>	

4. 今後の計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者・自治体等と共に「さっぽろカーボン・オフセット推進協議会」の活動として、二酸化炭素削減のためのエコなライフスタイルの実践についての普及啓発を行っていく。 ・ スリムネット事業として食品ロスについてのモニター調査を行うとともに、食育の一環として食品ロス削減に向けた普及啓発活動を行っていく。 ・ 家庭での3R実践へとつながるよう、小・中学校等での講座を一層広めていく。

【表彰概要】

項目	概要
受賞者名	社団法人 札幌消費者協会
所在地	北海道札幌市
開始時期	1973年
活動の区分	啓発普及等
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主婦の「もったいない」という感覚を基本理念として、大量生産・大量消費の風潮をオイルショックを契機に見直すこととし、「限りある資源を大切に」をテーマに「不用品交換会」を実施等。 ・ 「おもちゃのばくりっこ」・「ブンブンごま作り」・「ふくろうのブローチ作り」等、子供への啓発普及活動を積極的に展開し成果を上げている。
開始時期	1976年
活動の区分	リデュース
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「買い物袋持参運動」：壊れた傘の布地を利用して買い物袋の情報提供、販売。 ・ 「おもちゃのばくりっこ」：使用しなくなったおもちゃの交換会を実施。
開始時期	1969年
活動の区分	リユース
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「リサイクルバザー」は、札幌消費者協会が中心となり事業を展開し、札幌市の広報誌にも掲載し広く市民に開催を告知した。物品の提供を呼びかけ、非常に多くの市民から賛同を得、環境保全・資源の再利用の重要性やごみ減量化についての普及・啓発・消費者意識の向上をはかった。
開始時期	1977年
活動の区分	リサイクル
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「牛乳パックの回収」：昭和 62 年北海道に牛乳パック回収業者が設立された事により、リサイクルルートが確立された。 ・ 「古紙回収」：平成 12 年「チャリティリサイクルバザー」時に、販売しきれなかった衣類をごみにするのではなく回収。 ・ 「使用済み割り箸回収」：割り箸 3 膳で A4 サイズの紙 1 枚になる貴重な資源であることを啓発するため。